



2022年2月10日

各位

会社名 株式会社松屋アールアンドディ
代表者名 代表取締役社長CEO 後藤 秀隆
(コード：7317、東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役CFO経営管理部長 松川 浩一
(TEL. 0779-66-2096)

事業拡大に向けての大型投資（20億円）に関するお知らせ

当社は、2022年2月10日開催の取締役会において、以下のとおり、当社子会社である Matsuya R&D (Vietnam) Co.,Ltd.（以下、松屋ベトナム）において現在の5工場を全て集約した新工場を建設し、現在の工業団地から移転することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 取得の理由

現在、当社子会社である松屋ベトナムにおいてはドンナイ省アマタ工業団地内において、5つの工場全て（土地及び建物）をレンタルにて保有しており、各工場にて血圧計腕帯、カーシート、エアバッグを生産しております。この度、近隣のホーナイ工業団地において、新工場を建設し、同工業団地へ移転することとしました。当該新工場建設・移転の目的は下記の通りです。

- ・今後の需要増加への対応
血圧計腕帯、カーシート及びエアバッグについて、松屋ベトナムでの生産委託は毎年増加しており、今後、更に大幅な増加が見込まれます。今回の新工場建設により従来の約2倍の生産面積を予定しております。
- ・レンタル費用の削減
ベトナム国においては世界各国の企業からの投資が相次いでいる背景から、土地、不動産の価格が上昇しており、工場のレンタル費用も年々高騰していることから、コスト上昇の要因の一つとなっております。新工場建設により自社工場を保有することで、年間のコストを大きく削減することが可能となり、新たに取得する固定資産（建物・土地）の減価償却費を加味しても現時点で**1億円以上のコスト削減**が見込まれます。
- ・工場の効率化
現在、ドンナイ省ビエンホア市アマタ工業団地内にて5つの工場をレンタルしています。これまで別々に点在していた5つの工場を、新工場にて1カ所に集約することで、警備などの管理費の削減及び工程の効率化により、**レンタル費用とは別に費用削減効果**が見込まれます。
- ・資金計画について
土地及び建物の取得にあたり、借入を予定しております。返済には毎年のレンタル費用の削減分170百万円を主な返済財源とする予定であり、効率化によるコスト削減も含めることで、年間のキャッシュ・フローは負担が生じることなく、逆に良化する見込みであります。
- ・Matsuya Innovation Center（以下、MIC）の拡充
松屋ベトナムの研究開発拠点であるMICの拡充を図り、AIロボット、システム、ソフトの開発販売、優秀なエンジニアの人材派遣など事業の拡大を狙い、研究開発投資を行っていく予定であります。

・スマートファクトリーの実践

新工場において業界初のスマートファクトリー実践のため、更なる自動化に取り組む予定です。将来的には国内回帰を促すことを目標としております。

2. 取得資産の内容

所在地	ベトナム国ドンナイ省ホーナイ工業団地内
設備投資内容	土地取得及び工場・事務所棟・研究開発棟の建設
土地取得相手先	HO NAI INDUSTRIAL ZONE JSC
投資予定額	約 20 億円（土地：8 億円 建物：12 億円）
資金計画（予定）	借入金（※）
スケジュール	土地に関する契約締結：2022 年 2 月 25 日 工事開始：2022 年 5 月頃 新工場稼働：2023 年 9 月頃

※借入について決定した際には別途、適時開示いたします。

3. 今後の見通し

本設備投資が 2022 年 3 月期の業績見通しに与える影響は軽微となります。なお、今回の設備投資による費用削減効果は 2023 年 9 月以降から発生が見込まれます。

※上記の内容については、現時点における事業計画及び入手可能な情報に基づき作成したもので、実際には今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上